



## 介護の仕事で 学んだ事

生協あじまの家グループホーム  
介護福祉士  
杉浦 由季

私自身が介護の仕事をはじめたきっかけは、祖母が入院した時に何もできず心残りがあった事と、入院中に祖母の訴えや状況をくみ取って対応していた看護師を見て、私自身も何か人の役に立てる仕事に就きたいと思ったからです。

働き始めた当初は、失語症の方と関わった時に知識も経験も乏しく、コミュニケーションがうまく取れず、その方も自分の想いを職員に理解してもらえない事でイライラされる事が多くありました。当時わかばの里では「その人のルーツを探る」取り組みをしていたことから、その方の病気、ADL(日常生活動作)、性格、癖、行動や習慣などその人らしさを見ていくようにしました。結果、その方をより深く知る事でコミュニケーションが少しずつとれるようになり、居室にこもる事が減ってその方から声をかけられることが増えました。カルテに記載されている事だけでなく、その方を全人的にとらえる事が大切だと痛感しました。

今回この機会を頂き、当時の思いを文章にする事で初心を思いだす事が出来ました。今後もこの気持ちを忘れずに利用者に寄り添い続けたいと思います。

